

神戸支部の先生方 署名にご協力ください

FAX078 - 393 - 1802 まで

2009年 月 日

神戸市長 矢田立郎 様

神戸市立中央市民病院の
移転計画を一時凍結し、
見直してください。

お名前	ご住所

取扱団体名 ()

兵庫県保険医協会
神戸支部ニュース

219号
2009年7月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸7功生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会神戸支部 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

社保協 神戸市協議会が国保相談会

高すぎる国保料に怒りの声



兵庫県社会保障推進協議会（会長は武村義人協会副理事長）の神戸市協議会は、国保を中心とした相談活動に市内全区で取り組んだ。

相談会は、住民税と国保保険料などの通知が届いた時期にあわせて、2007年から毎年取り組んでいるもの。今年度は6月22日から27日まで20会場で行い、相談件数は312件でそのうち3割近くの93件が保険料などの軽減が可能と見込めた。



西区社保協では17人の市民が相談に訪れた(上)
東灘区社保協では税理士が相談に応じた(下)

(1面から続く)

相談者からは「夫婦2人で国保のときは月8千円の保険料だったのに、夫が後期高齢に移った途端に保険料が5千円増えた」「1月に失業したのに、前年の所得を元に高い保険料になっている。これでは生活できない」「なんでこんなに高いんや！」など不満の声が寄せられた。また、県の福祉医療制度で老人医療助成の

対象になっていたが、医療証を取り上げる通知が届いたとして「2割でも高いのに3割の医療費負担はできない」との声も寄せられた。

同会では、現行制度での保険料の減免活用の助言を行うとともに、国保料引き下げを求める署名運動と、集団での不服審査請求に取り組むことにしている。

社保協 元町大丸前で署名活動

『国保料の引き下げを』 『市民病院移転計画の凍結を』



買い物客らが次々と署名に応じ「市民病院移転は知らなかった」との声も

社会保障推進協議会神戸市協議会は7月7日夕方、元町大丸前で「国保料引き下げ・後期高齢者医療制度廃止」と「中央市民病院移転計画の一時凍結」の2つの署名を訴える宣伝活動を行い、1時間の活動で100筆を超える署名が集まった。

買い物客などでにぎわう中、「払える国保・住民税に」とのぼりをたて、「中央

市民病院に1024億円を使う計画。無駄遣いはあらため、国保料の引き下げを」と訴えた。

次々と署名に応じる市民からは、「市民病院の移転問題は知らなかった」と話しかける市民も。個室が75%にもなると知って、「ビックリ、本当なんですか。もう市民病院じゃないですね」など驚きと不満の声が寄せられた。

東灘区社保協第10回総会

社保協が政治をかえる推進力に

東灘区社保協は、7月16日に第10回総会を開催し、25人が参加した。議事では08年度活動報告と09年度活動方針が承認され、口分田勝神戸支部幹事が会長に再選された。口分田先生は「権利としての社会保障を守るため、社保協のさらなる活発な取り組みが必要」と訴えた。「記念企画ではNHKのDVD「その時歴史が動いた-赤ちゃんを死なせない」を上映し旧沢内村が乳幼児死亡率ゼロを実現した経験について学んだ。



会長に再選された口分田先生があいさつした

健康情報テレホンサービス



0120-979-451

＜8月のテーマ＞

- 月曜日 肝炎ウイルスキャリアの妊娠・出産
- 火曜日 睡眠時無呼吸症候群の歯科治療
- 水曜日 糖尿病の早期発見・治療
- 木曜日 急に起こる血便
- 金土日 とびひ



9時30分から曜日ごとにテーマを変え、24時間いつでも、3分間程度の放送が流れます。なお、祝祭日は前日の放送が流れます。

投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。



FAX 078-393-1802 または e-mail tamura@doc-net.or.jp 担当: 田村まで